

稲光会報

第45巻 67号

令和4年 2月12日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行人 内田陽子
題字 滝口宏

<http://wasedafencing.com>



2021年は記念すべき年となった。早稲田大学フェンシング部が創部75年を迎え、それに合わせたかのように、東京オリムピック(Tokyo2020)

早稲田大学フェンシング部 75周年に寄せて

フェンシング部長 矢口徹也

で、加納虹輝選手がエベ団体で金メダル、松山恭介選手がフル1レ団体キャプテンとして4位に入賞した。これまでの全在籍部員の努力の蓄積、稲光会のみなさん、歴代監督、コーチの尽力の成果としてお祝いしたいと思う。誠におめでとうござい

ます。もうひとつ、私的な余談をひとつ、お話ししたい。本年10月、私が大学院で担当している70代後半の女性が博士学位を取得した。研究論文は、明治期のキリスト教伝道と日本の女子教育に関する労作である。この3月には総長から直接、学位記を受領する。

先日、彼女と話していて、叔父が戦時中の「最後の早慶戦」のメンバーであった、と伺った。その叔父とは、慶応義塾大学野球部主将で、学徒出陣前の早慶戦開催を小泉信三塾長に願ひ出



早稲田大学総長へ五輪報告 左から 植竹会長、石井センター長、松山先輩、田中総長、加納先輩、内田監督、矢口部長

令和3年(2021年)の夏に開催された東京五輪。我が部のOBである松山恭助先輩と加納虹輝先輩が見事な成績を残してくれました。また、年末に行われた全日本でも加納先輩は個人で金、学生部員は男子エベ団体で全日本学生(インカレ)と全日本の2冠を獲得するなど、我が部にとってメダルラッシュの一年となりました。

東京五輪 加納(令和2年卒)金メダル獲得! 松山(平成31年卒)4位入賞!

創部75年目の三役はこの3人!!

主将 川村 京太



フェンシングを始めて14年目、競技を通して多くのことを経験してきましたが、今年で最後だと思いと感慨深いです。最後だからこそ悔いのないように、フェンシング人生の集大成をお見せしたいと思います。リーグ戦全種目優勝、個人でも大学日本一を目標に掲げつつ、後輩たちに何を残すことが出来るのかを行動で示し、笑顔で引退したいです。最後まで向上心を忘れず、誰よりも勝利に貪欲な主将を目指します。

副将 影山 野希花



副将として部の運営に携わる機会を頂きましたこと誠に感謝申し上げます。部員の減少など部にとって厳しい点はございますが、一人一人が「言うべきことは言い、やるべきことは言われずともやる」風土を目標に副将としてより一層精進して参る所存でございます。稲光会の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。先の見通しがつき辛い状況が続きますが、ご自愛のほど心よりお祈りしております。

主務 黒田ほのか



この度主務に任命されました黒田ほのかと申します。主務という部の会計に携わる重要な仕事を一任されたこと大変嬉しく存じます。選手としてそして会計管理者として臨機応変な対応を心掛け、務めていく所存でございます。また部員1人1人が早稲田大学フェンシング部の一員としての自覚を持ち、目標に向かって行動できる環境作りをしていきたいと考えております。最後になりましたが、最上学年とはいえまだまだ未熟者でございます。稲光会の皆様には日頃からご支援頂いておりますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成28年卒
奥村祥大

ご無沙汰しております。奥村祥大です。この度、令和3年5月5日に入籍しましたことをご報告いたします。相手は勤めていた会社の同期で、約4年の交際を経て結婚にいたしました。私自身は、昨年会社を退職し、現在はスペイン(マドリッド)にて大学院生をしております。

OB・OG お便り
晴れやかな
門出
結婚のご報告

Happy Wedding

スペインで待ってます! /



無収入のため生活はカツカツですが笑、ヨーロッパでの新婚生活を楽しんでおります! パートロンを探していますので、我こそはという方、お待ちしております! 2023年3月までこちらにおりますので、お越しの際はぜひご一報ください! 最高のおもてなしでお迎えます!

チームを牽引した4年生から一言 増田陽人

今年の団体戦の成績は、4年間で過去最高の成績を収めることができました。しかし、コロナの影響やチームの編成がガラッと変わり初戦のカンカレから苦戦を強いられました。その中でも、私の考えた作戦にチームメイトがしっかりとついてきてくれたことが良い成績に繋がったと感じています。4年生となりより自分の試合に対する責任が高まりましたが、その分、プレッシャーを自分の力に変えることができたのが、今年1の成長であると考えています。大学卒業後もオリンピックを目指し選手として活動を続けていくので応援よろしくお願いたします。



75周年、皆でつなごう稲光会 75周年について

75周年記念式典は1年延期して6月中旬の開催を目指し準備を進めておりますが、コロナの関係でまだ日時・場所は決まっておりません。決定次第、ホームページやフェイスブックでお知らせするとともに、正式なご案内を差し上げる予定です。なお、75周年募金は令和3年12月24日現在で、総額3,475,000円(矢口先生と会員82名)となりました。ご寄付を賜り

ました矢口先生並びに稲光会の先輩方々には改めて御礼申し上げます。募金の中から、既に松山・加納両選手へはお祝い金として20万円づつ贈呈しております。また、部への寄贈品はトレーニング器具に決定しております。75周年募金はまだ募集しておりますので、ご賛同頂ける先輩方々におかれましては、下記口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。(幹事長・木田武夫)

75周年募金: 10,000円(1口) ※昭和卒会員2口2万円以上、平成・令和卒会員1口1万円以上

2021年度 稲光会費: 12,000円 ※会費の未納の先輩はこちらのお振込みもお願いします

振込先: みずほ銀行日本橋支店 普通口座 2424751 早稲田大学稲光会

試合結果はこちらから

早稲田大学フェンシング部
公式Facebook
<https://www.facebook.com/wasedafencing/>



早稲田スポーツ新聞会
「フェンシング部」
<http://wasedasports.com/club/fencing/>



2021年度戦績 ※個人8位以上

第74回 関東学生フェンシング連盟リーグ戦

5月6～8日、11～14日

中止

第74回 全日本フェンシング選手権大会

9月17日

個人女子サーブル 8位 黒田ほのか

第73回 関東学生フェンシング選手権大会(関カレ)

10月14～15日、20～22日

個人女子フルール	4位	森多 舞
個人男子フルール	2位	ビューワーニック ダグラス
個人女子エペ	6位	蓮井陽菜
個人男子エペ	4位	金高大乗
	7位	増田陽人

女子フルール団体	4位
男子フルール団体	3位
女子サーブル団体	6位
男子サーブル団体	5位
女子エペ団体	4位
男子エペ団体	2位



全日本学生フェンシング選手権大会(インカレ)

11月17日～21日

個人男子フルール	8位	ビューワーニック ダグラス
個人女子エペ	5位	影山 野希花
個人男子エペ	優勝	増田陽人
	3位	金高大乗

女子フルール団体	3位
男子フルール団体	3位
女子サーブル	8位
男子サーブル団体	3位
女子エペ団体	8位
男子エペ団体	優勝



牧杯ジュニアフェンシング選手権大会

12月4～5日

個人女子フルール 2位 森多 舞

第74回 全日本選手権大会

12月4～5日

女子フルール	5位
男子フルール	3位
女子エペ	優勝
男子エペ	優勝
女子サーブル	3位
男子サーブル	ベスト16



第74回 早慶定期戦大会

12月4～5日 (慶應義塾大学 猿谷体育館)

エペ男子	● 41 - 42 ○
エペ女子	● 32 - 35 ○
サーブル男子	● 29 - 45 ○
サーブル女子	● 41 - 45 ○
フルール男子	○ 45 - 43 ●
フルール女子	○ 45 - 15 ●



第29回 JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会兼2022年世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会選考会

1月6～7日

個人男子サーブル	3位	田中智也
個人女子フルール	5位	森多 舞

—五輪を一言でまとめると？
松山 今までの人生の中で自分自身が最も成長した2週間でした。
加納 楽しかったです。
 —五輪で一番記憶に残っている試合は？
松山 イタリア、Garrozotoの団体戦です。個人戦での試合も一番と言っているほど記憶に残る試合でしたが、団体戦の最後で個人戦のリベンジをしたことは一番のハイライトです。
加納 団体のフランスとの試合で最後の一本。メダルを獲得するために一番大事な一本だったから



団体戦で雄叫びをあげる松山先輩

—五輪期間中、成長したのは？
松山 自分は世界のトップとの差がない。むしろ同じレベルに立ちたいと思えたメンタルです。
加納 極限の状態でも冷静に試合ができたのはオリンピックの中で成長できたと思います。
 —五輪後、変化したことは？
松山 大舞台を経験したので、何事もなにかなると言うメンタルティになりました。
加納 もう一度オリンピックで金メダルを獲得する嬉しさを味わい



オレグコーチと松山先輩

—五輪期間中、成長したのは？
松山 自分は世界のトップとの差がない。むしろ同じレベルに立ちたいと思えたメンタルです。
加納 極限の状態でも冷静に試合ができたのはオリンピックの中で成長できたと思います。
 —五輪後、変化したことは？
松山 大舞台を経験したので、何事もなにかなると言うメンタルティになりました。
加納 もう一度オリンピックで金メダルを獲得する嬉しさを味わい



全日本選手権男子エペ優勝の瞬間

乗(社3年)に続き早稲田で男子エペ個人2連覇です。また男子フルールのアベック3位と男子サーブルの3位もありました。さらには全日本選手権男子エペで14年ぶりの団体優勝という快挙があり、男子フルールと

女子サーブルも3位入賞しました。前号報告の日本学生フェンシングカップ女子エペでの蓮井陽菜(スポ科2年)の優勝もあり、部員たちの素晴らしい活躍に感謝の気持ちでいっぱいです。年は明け、2022年度に向けての新体制が発足しています。主将には川村京太(スポ科3年)、副将に影山野希花(政経3年)、主務の黒田ほのか(スポ科3年)、副務の重信早希(教育2年)が、既に職務開始しています。今年度の男子サーブルは、森多諒(社3年)以下2名

だけですが、春には3名が入部予定で強力布陣になります。しかし、他の入部予定者も男子ばかりで、女子の補強が必要です。早稲田に進学するフェンシング経験者をご存知の先輩がいらしたら、ぜひご紹介願います。大学のスポーツ推薦や自己推薦が厳格化しており、年々補強が難しくなっています。早稲田の杜に集まった部員たちで最高の結果を出せるよう、気を引き締めてまいります。これからも絶大なご支援をお願いいたします。(監督・内田敏朗)



全日本選手権男子エペ団体優勝と女子フルール団体8位入賞メンバー

13年ぶりにインカレ優勝！個人は2連覇を達成



金メダルと加納先輩

加納先輩、五輪後の国内戦でも圧倒的な強さで金!!

東京五輪後、国内での初の公式戦・全日本選手権でした。様々な人から注目されながらも見事個人で金メダルを獲得した加納先輩に、改めて試合について振り返ってもらいました。



会長の武井荘さんと一緒に

—東京五輪のプレッシャーは？
 プレッシャーは特にありませんでした。自分のプレーをすることだけを考えました。
 —決勝戦は15対4でした。圧倒的な強さでしたが「自分に勝つ」とはどういうこと？
 自分なりのプレーが思い切ってきたかできないかです。
 —今回は何故自分に勝てたと思いますか？
 自信があったからです。
 —本大会で記憶に残る必殺技はありますか？
 フェンシングに必殺技は存在しないと



加納先輩優勝の瞬間

考えています。
 —改めて、エペとはどんなスポーツ？
 ルールがシンプルで分かりやすく、駆け引きが魅力的なスポーツです。
 —後輩に一言
 結果が出ない時もあるだろうけど、自分を信じて最後まで諦めずに頑張ってください。



2人のサイン色紙

松山先輩、入賞おめでとう！
 加納先輩、金メダルおめでとう！
 7月23日から開催された東京五輪で活躍したお二人に、改めて試合後の気持ちを聞いてみました。